



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社CKサンエツ
コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	27,264	11.8	1,497	20.6	1,625	17.3	1,044	△13.8
25年3月期第2四半期	24,392	△19.3	1,241	△14.9	1,385	△37.1	1,211	△38.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,142百万円 (0.3%) 25年3月期第2四半期 1,139百万円 (△38.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	151.34	—
25年3月期第2四半期	182.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	34,129	18,511	51.3	2,500.95
25年3月期	34,351	17,089	47.3	2,397.78

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,516百万円 25年3月期 16,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	8.1	2,600	1.1	2,600	0.3	1,600	△21.8	236.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	8,867,000 株	25年3月期	8,867,000 株
26年3月期2Q	1,862,866 株	25年3月期	2,091,399 株
26年3月期2Q	6,901,070 株	25年3月期2Q	6,652,481 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府がインフレターゲットを導入したため、為替市場での円安と株式市場での株高が定着しました。このため、当社グループの主要原料で国際相場商品である銅の国内建値は、高値のままに推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、収益構造の改善に注力しました。具体的には、連結子会社サンエツ金属株式会社が、平成25年6月30日に、日立電線株式会社の連結子会社である日立ケーブルプレジジョン株式会社から、日立市にある同社日立工場のめっき線事業を譲受し、サンエツ金属株式会社が従来から手掛けていた錫リフローめっき線の生産能力を増強するだけでなく、銀めっき線やニッケルめっき線、錫めっき線など、各種の高付加価値めっき製品の生産を開始いたしました。

また、連結子会社シーケー金属株式会社は、富山県黒部市にあるJX金属黒部ガルバ株式会社が平成25年9月30日をもって溶融亜鉛めっき事業から撤退することから、同社が保有する溶融亜鉛めっき加工設備ならびに付帯する資産等を譲受することで、同社と合意しました。譲受した設備等は、同年10月1日以降、シーケー金属株式会社の溶融亜鉛めっき工場に移設し、生産能力を増強しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が272億64百万円（前年同四半期比11.8%増加）となり、営業利益は14億97百万円（同20.6%増加）、経常利益は16億25百万円（同17.3%増加）となりましたが、四半期純利益は、前年同四半期には発生した負ののれん発生益（2億75百万円）が発生しなかったため10億44百万円（同13.8%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①伸銅

伸銅事業では、販売量は3万9,914トン（前年同四半期比2.0%増加）となりました。売上高は、原料である銅の価格が前年同四半期より相対的に高い水準だったため227億52百万円（同12.9%増加）となり、セグメント損益は12億78百万円（同6.6%増加）のセグメント利益となりました。

②精密部品

精密部品事業では、売上高は21億78百万円（前年同四半期比4.8%増加）となり、セグメント損益は1億2百万円のセグメント利益（前年同四半期はセグメント利益9百万円）となりました。

③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、北陸新幹線の駅舎や車両基地などの建設工事において、独自技術である鉛レス・カドミウムレスの環境対応溶融亜鉛鍍金を大量に受注したため、売上高は23億32百万円（前年同四半期比7.6%増加）となり、セグメント損益は52百万円のセグメント利益（前年同四半期はセグメント損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は246億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5百万円減少いたしました。これは主に売掛金が9億8百万円増加したものの、現預金が12億48百万円減少したことによるものであります。固定資産は94億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億34百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、341億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は131億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億54百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が12億90百万円減少したことによるものであります。固定負債は24億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億65百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、156億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億44百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は185億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億22百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益10億44百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末は47.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、伸銅事業の販売量がほぼ前年同四半期並みに推移しており、また原料の銅相場も比較的安定して推移していることから、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,662	413
受取手形及び売掛金	13,931	14,639
商品及び製品	3,620	3,670
仕掛品	2,739	3,066
原材料及び貯蔵品	2,210	2,353
繰延税金資産	286	296
その他	569	278
貸倒引当金	△27	△28
流動資産合計	24,993	24,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,175	6,308
減価償却累計額	△3,412	△3,530
建物及び構築物（純額）	2,762	2,777
機械装置及び運搬具	13,829	14,116
減価償却累計額	△12,479	△12,809
機械装置及び運搬具（純額）	1,349	1,306
土地	4,003	4,064
建設仮勘定	46	128
その他	733	766
減価償却累計額	△660	△673
その他（純額）	73	92
有形固定資産合計	8,235	8,369
無形固定資産		
その他	56	80
無形固定資産合計	56	80
投資その他の資産		
投資有価証券	726	712
前払年金費用	174	159
その他	202	155
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	1,065	990
固定資産合計	9,357	9,440
資産合計	34,351	34,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,336	3,252
短期借入金	8,790	7,500
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払金	87	138
未払費用	460	505
未払法人税等	970	773
賞与引当金	456	469
設備関係支払手形	124	158
その他	164	138
流動負債合計	14,590	13,136
固定負債		
長期借入金	1,125	960
繰延税金負債	408	320
再評価に係る繰延税金負債	326	326
退職給付引当金	582	642
引当金	209	212
その他	19	18
固定負債合計	2,671	2,480
負債合計	17,262	15,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	2,701	2,789
利益剰余金	11,612	12,618
自己株式	△1,418	△1,260
株主資本合計	15,651	16,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	22
土地再評価差額金	519	519
為替換算調整勘定	43	70
その他の包括利益累計額合計	594	612
少数株主持分	842	994
純資産合計	17,089	18,511
負債純資産合計	34,351	34,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	24,392	27,264
売上原価	21,755	24,331
売上総利益	2,637	2,933
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	387	394
給料及び手当	340	340
その他	667	701
販売費及び一般管理費合計	1,395	1,436
営業利益	1,241	1,497
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	10	3
受取地代家賃	21	44
為替差益	5	41
デリバティブ評価益	109	—
その他	66	82
営業外収益合計	216	172
営業外費用		
支払利息	27	20
デリバティブ評価損	—	4
環境対策引当金繰入額	21	—
その他	24	20
営業外費用合計	72	44
経常利益	1,385	1,625
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	13	61
負ののれん発生益	275	—
補助金収入	139	67
その他	15	0
特別利益合計	444	129
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	10	0
特別損失合計	10	2
税金等調整前四半期純利益	1,819	1,752
法人税等	570	628
少数株主損益調整前四半期純利益	1,248	1,124
少数株主利益	37	79
四半期純利益	1,211	1,044

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,248	1,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	△9
為替換算調整勘定	2	27
その他の包括利益合計	△108	18
四半期包括利益	1,139	1,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,102	1,062
少数株主に係る四半期包括利益	37	80

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,819	1,752
減価償却費	555	428
有形固定資産除却損	10	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△13	△61
負ののれん発生益	△275	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2	60
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32	3
環境安全対策引当金増減額(△は減少)	21	—
受取利息及び受取配当金	△11	△4
支払利息	27	20
売上債権の増減額(△は増加)	△227	△632
たな卸資産の増減額(△は増加)	758	△497
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△82	49
仕入債務の増減額(△は減少)	△339	△144
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45	△70
デリバティブ評価損益(△は益)	△109	4
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△43	72
その他	20	△72
小計	1,991	924
利息及び配当金の受取額	11	4
利息の支払額	△26	△20
法人税等の支払額	△201	△891
法人税等の還付額	—	308
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,775	325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△608	△513
有形固定資産の売却による収入	0	2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	1
貸付けによる支出	△950	—
貸付金の回収による収入	770	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△789	△510

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△990	△1,290
長期借入金の返済による支出	△106	△165
自己株式の処分による収入	194	419
自己株式の取得による支出	△24	—
子会社の自己株式の取得による支出	△26	—
配当金の支払額	△29	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△982	△1,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4	△1,248
現金及び現金同等物の期首残高	390	1,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	394	413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	20,144	2,079	2,168	24,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,898	962	0	2,861
計	22,043	3,041	2,169	27,253
セグメント利益又は損失(△)	1,199	9	△6	1,201

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,201
セグメント間取引消去	172
全社費用	△132
四半期連結損益計算書の営業利益	1,241

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	22,752	2,178	2,332	27,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,862	175	0	2,037
計	24,615	2,353	2,333	29,302
セグメント利益	1,278	102	52	1,432

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,432
セグメント間取引消去	173
全社費用	△109
四半期連結損益計算書の営業利益	1,497